

# 農商工が連携！ 道の駅を拠点に 広域ネットワークを活かした特産品の開発

旧富浦町の全額出資により設立した第3セクター「(株)とみうら」が中核となり、250年の歴史をもつ房州びわを活用した産業と文化の振興を図る。ビワ農家、商工会、民間企業が連携し、房州びわを原料とした自社オリジナルブランド商品の開発、観光会社とタイアップした観光客の集客増など、道の駅を拠点とし地域経済の活性化に貢献している。



## 背景と課題

### 社会環境の変化に伴う基幹産業の衰退

旧富浦町は房総半島の南西部に位置し、人口約5,700人、面積約25 k㎡の丘陵地が多く温暖な気候と自然豊かな農山漁村であった。大きな観光施設はないが、風光明媚で東京湾に面した海岸は海水浴客で賑わっていた。また、気候を活かした農産物として天皇陛下に献上する房州びわや花卉の産地としても知られていた。

しかし、農産物の輸入自由化、バブル経済の破綻に伴い、基幹産業である観光や農業、漁業の衰退に拍車がかかり、少子高齢化による過疎化も深刻な問題となっていたため、交流人口の増加、農業の担い手育成、新しい特産品の開発が地域に求められていた。



## 取組のきっかけ

### 環境の変化に応じて枇杷倶楽部を立上げ

そのような状況の下、東京湾アクアラインや東関東自動車道館山線の整備計画をきっかけに、当時の町長の発意により、富浦町に「産業振興プロジェクトチーム」が結成され、商工会や農業団体、観光団体との協議を重ねた。これが「枇杷倶楽部プロジェクト」となり、平成5年11月、道の駅とみうら・枇杷倶楽部をオープン、特産のびわを活用した商品開発と、南房総という広域の産業資源を活用した新たな集客交流事業の創出を目指すこととなった。

農業衰退の対策として、びわの出荷規格外品を活用して商品開発をする加工事業に取り組み、観光客への販売や周辺観光施設への卸販売、ネット販売などへの展開を図ってきた。また、観光客減少の対策として、観光会社や地域の農商工業者と連携した「一括受発注システム」を開発した。こうした取組が、びわの産業振興や南房総への集客アップに寄与している。



## 株式会社とみうら

所在地：〒299-2416

千葉県南房総市

富浦町青木123-1

連絡先：0470-33-4611

FAX：0470-33-4231

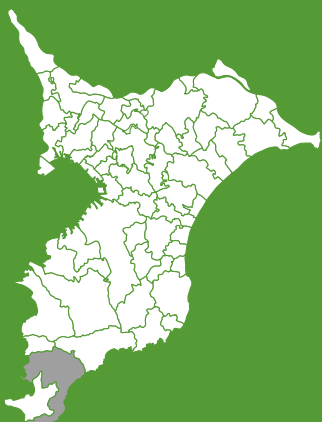
## 千葉県南房総市

総人口：44,614人

高齢化率：34.7%

世帯数：16,992世帯

総面積：230.22 k㎡





## 取組と成果

# 多様な業界との広域連携と一括受発注システム

### 取組1

#### エコミュージアム構想

富浦町には特級の観光資源に乏しかったため、地域全体の様々な資源を一体的に捉えることで地域そのものを観光の目玉とする「エコミュージアム構想」を推進した。また、富浦町のみにとどまらず、広域的な資源を組み合わせることで鮮度の高い情報を発信するポータルサイト「南房総いいとこどり」を運営し、南房総のランドオペレーターとして、南房総全域の観光振興を行っている。



### 取組2

#### 商標登録によるブランド化

枇杷倶楽部では自社製造による商品開発から販売まで行うことで個性を高め、他店・他商品との差別化を図っている。さらに「枇杷倶楽部」を商標登録することで地域特産物のブランド化につなげている。

### 取組3

#### 観光農業の振興

花摘み園、イチゴ園、ビワ園などの整備を進め、冬から早春にかけての花摘みの観光化や、富浦町では栽培していなかったイチゴ栽培の導入を図り、それまで夏季型であった観光シーズンから冬から春にかけても観光シーズンとして売り出す周年型を実現させた。

### 取組4

#### 一括受発注システムによる観光事業

ビワ狩り、イチゴ狩り、花摘み等の農業体験や歴史、景観と食事を組み合わせ、束ねて一括で観光会社に販売する一括受発注システムを開発し集客力アップを図った。

## 成果

#### 観光客の大幅増

道の駅の開設、観光会社とのタイアップ、一括受発注システム等の工夫によって、平成6年に約22万人だった道の駅利用客数が、平成20年には約68万人へと大幅に増加している。

#### 健康な経営状況

町が全額出資の第3セクターとして、独自の開拓的な経営手法により、収支は黒字を保っている。平成6年に約3.8億円だった売上も、平成20年には約6.7億円へと増加している。

#### 地域への波及効果

枇杷倶楽部の隆盛に伴い、道の駅だけでなく地域の農家や商店街などに観光客が訪れ、町全体に経済的な波及効果が生まれた。また、(株)とみうらでは町人口の約1%に値する70人の雇用を生み出している。

#### 道の駅グランプリ受賞 農商工連携 88 選認定

道の駅を拠点とした様々な先進的取組と多様な業種との連携による地域経済への波及などの効果が認められ、平成12年に「道の駅グランプリ2000」で最優秀賞を獲得。平成20年に農商工連携88選に選ばれた。

